

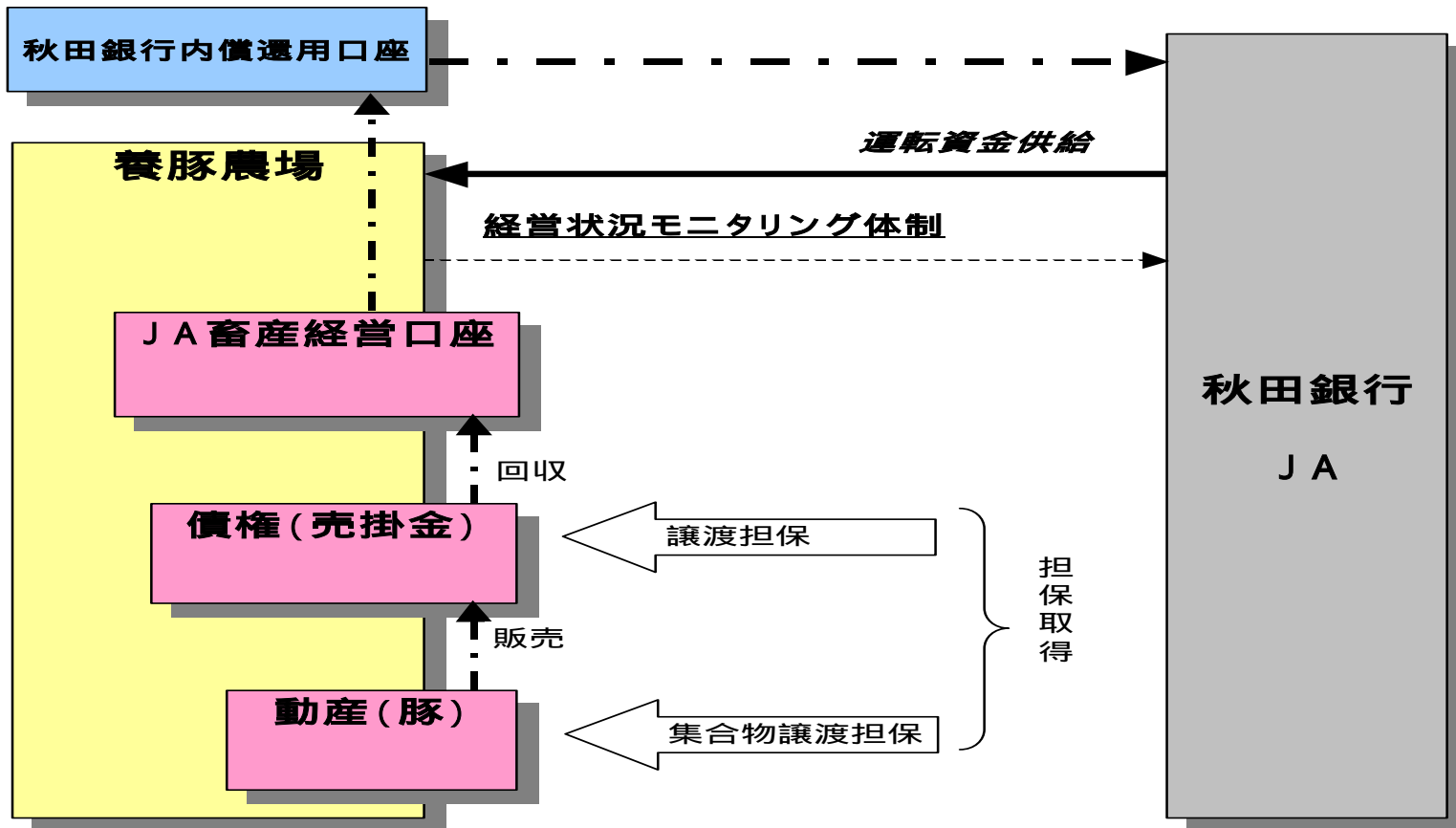
・事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法

ブランド豚を担保としたABL

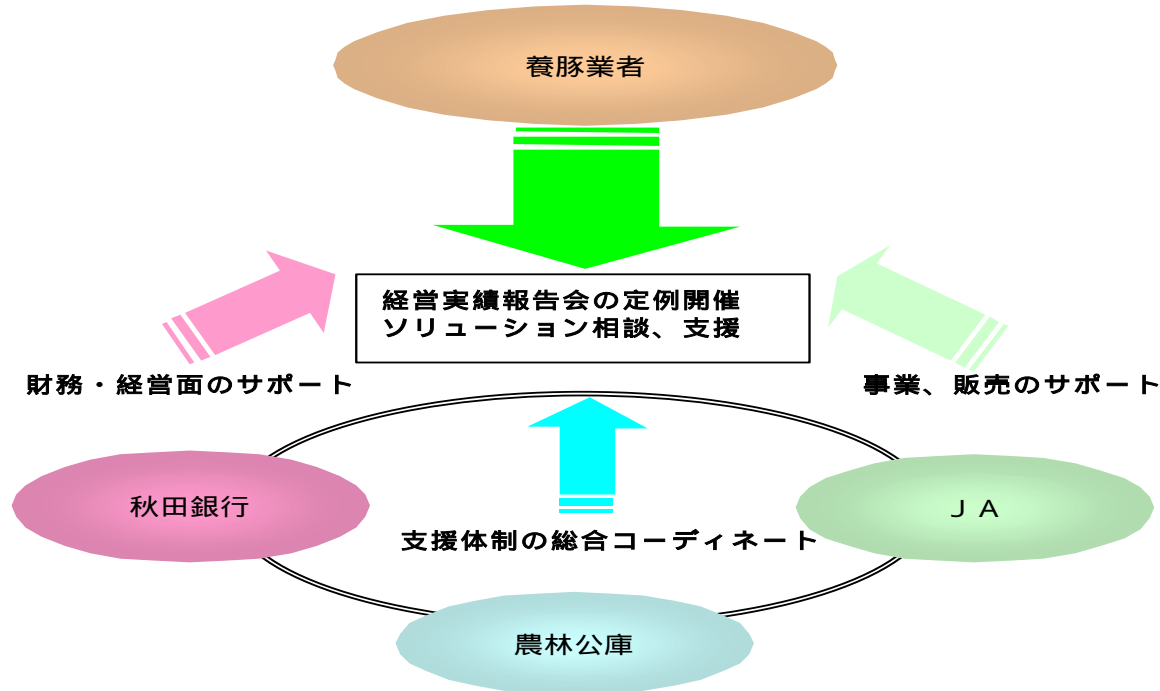
(金融機関名)秋田銀行

1. 動機(経緯)	<ul style="list-style-type: none">・アグリビジネスへの取組みを強化するうえで、案件掘り起こしノウハウの吸収などに向けて、農林漁業金融公庫との連携、協調を重要施策として進めていた。・そうしたなかで、農場設備および運転資金需要のある大口農業先案件が発生した。・公庫と協調融資対応を協議し、融資先の動産管理手法が確立されていたこと 協調金融機関で商流全体のサポートが可能となることを勘案し、運転資金部分は動産を担保とするABLでの支援スキームを構築した。
2. 概要	<p>【事例の概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・融資対象先: 地元大手養豚業者・支援概要: 大規模設備投資に対する設備資金協調融資、当行およびJAが動産(農場内の肥育豚)および売掛債権に譲渡担保設定するABLによる運転資金融資・経営支援協定締結: 金融機関(当行・農林公庫・JA)と融資対象先との間での「経営支援協定」を締結、各機関の機能を活かした経営支援の実施による事業発展サポート <p>【融資先の概要】</p> <ul style="list-style-type: none">・秋田県北部において首都圏でも知名度の高いブランド豚(桃豚)を生産している養豚農場・地域循環環境型農業の推進、生産情報公表豚肉JAS規格認定取得、ICタグ付耳標管理の導入など、農業(養豚業)経営の高いレベルのモデルといえる。
3. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none">・当行、農林公庫、JAの3者による協調支援は全国初の取組み・支援金額合計26億円(設備:21億円、運転:5億円)・3金融機関がお互いの機能や特性を活かすことで、総合的な農業経営ソリューションを実現・資金供給のみではなく、販路拡大のビジネスマッチング支援も実施<ul style="list-style-type: none">「北東北3行(Netbix)ビジネス商談会」や農業関係者と流通・加工業者等との交流・商談を企画したイベント「アグリブリッジ」(農林公庫との共催)への出展・アグリビジネス分野への取組みスタンスのPR効果、融資ノウハウの取得・ABL(動産担保融資)という新たな資金供給スキームの提供
4. 今後の予定(課題)	<ul style="list-style-type: none">・アグリビジネス分野でのソリューション機能の充実(融資商品、販路拡大支援、行内での人材育成)・ABLへの取組み強化(行内体制の整備、取引先への周知)

A B L の概略図



経営支援協定締結による支援体制



- 融資後も継続的に経営を支援するため経営支援協定を締結
- 民間金融機関にJAも含めた3者による協調支援は全国初
- 3金融機関の機能や特性を活かすことで総合的な経営支援活動を実現
- 経営実績報告検討会を開催
- 資金供給のみではなく、販路拡大のためのビジネスマッチング、財務管理面での支援を実施